

平成22年度 奈良県環境県民フォーラム事業実績

1. フォーラムの運営

- 総会の開催（日程：平成22年4月16日 場所：奈良県文化会館）
記念講演：「市民と社会ですすめよう！25%削減のために」
～COP15コペンハーゲン会議からCOP16メキシコへ～
講師：清水 順子 氏（サークルおてんとさん代表）
- 10人委員会の開催（8回開催）
- 各分科会の開催
エネルギー（7回開催） エコライフ（5回開催） 資源活用（10回開催）
自然環境（5回開催）

2. 主要事業

① 全体

- 環境の日街頭キャンペーンへの参加
時期：平成22年6月4日
場所：近鉄奈良駅前（奈良市）
- 環境フェアの開催（県、環境県民フォーラム、地球温暖化防止活動推進センター共催）
日常生活における地球温暖化防止の取組みを促進するため、環境保全活動の事例紹介やパネル展示、体験コーナー、環境商品の展示等を通して小中学生を含めた県民に広く啓発するために開催
時期：平成22年9月20日
場所：奈良県産業会館（大和高田市） 来場者数：800人
- 機関紙「環境県民フォーラムだよ！り」の発行（年2回）
目的：フォーラムの存在の外部へのアピールとフォーラム会員内の情報共有
仕様：見開き4ページ A4版
部数：3,000部（26号） 3,000部（27号）
配布先：フォーラム会員、関係団体、公共機関、環境イベントでの配布など
- 奈良県環境県民フォーラムニュース（毎月）
目的：フォーラム会員の交流の活性化、環境関連情報の共有
内容：フォーラム会員主催の催し、近畿地方の環境関連のイベント・講演会、フォーラム各分科会の会議内容報告など。
- エコな～らライフ宣言（CO2ダイエット事業）
家庭での省エネ行動を推進するため、その実践宣言をホームページ等で募集
一定の宣言量に応じて樹を植え、削減したCO2を見える化し、温暖化防止にかかる県民意識の高揚を図る。
・宣言数 4/1～9/30間で 301世帯 計23,381な～ら

●暮らしと環境フェスティバルへの参画

暮らしと環境フェスティバルに参加・出展するとともに、各分科会がブース出展

日程：平成22年4月3日、4月4日

場所：奈良県文化会館 来場者数：9,000人

②エネルギー分科会

●植樹バスツアーの開催

エコな〜らライフ宣言者を対象に、公共施設への植樹を実施。

日程：平成22年11月14日

場所：奈良県野外活動センター（奈良市） 参加者数：26名

植樹：ツガ、ウラジロガシ、スタジイ、ツブラジイ、マテバジイ、オオモミジ、
イタヤカエデ、ウリハダカエデ、ヒメシャラ、ムベ
23本 (1000な〜らで1本)

(瀬戸内オリーブ基金の補助をうけて実施)

●環境講演会の開催

環境県民フォーラムの活動紹介や、環境にやさしいエコライフの提案及び推進を目的とし、一般の県民を対象に開催した。

日程：平成23年1月20日

内容：エコについてのお話と鍋帽子を使った調理体験

場所：橿原市保健福祉センター（後援：橿原市） 参加者：22名

●エコ見学バスツアーの開催

フォーラム会員の研修を目的として、省エネルギー実験住宅等の見学会を開催した。

日程：平成23年3月2日

場所：NEXT21 大阪ガス実験集合住宅、
(株)エネゲート（電気自動車充電設備）

参加者：13名

③エコライフ分科会

●「川の教室」事業

夏休み期間中に子どもたちを対象に、上下流の子どもたちの交流や生活排水実験、川の生き物観察など水質に関する啓発を実施

日程：平成22年7月17日

場所：大和川支川葛川（御所市） 参加者数：51名

●エコ見学会（資源活用分科会と共同実施）

フォーラム会員の環境保全意識の高揚、情報共有を図るため、先進的な環境配慮型施設を見学

日程：平成22年11月4日

場所：大阪府臨海部（堺7-3区）のエコタウンにあるリサイクル施設（堺市）

参加者数：14名

④資源活用分科会

- 環境にやさしい買い物キャンペーンの実施
ごみゼロとレジ袋削減を目的として、マイバッグ持参啓発キャンペーン実施
日程：平成22年11月1日 10時～12時
場所：ならファミリー（奈良市西大寺）ジャスコ入口（東口）
- エコ見学会（エコライフ分科会と共同実施）
日程：平成22年11月4日
場所：大阪府臨海部（堺7-3区）のエコタウンにあるリサイクル施設（堺市）
参加者数：14名
- 過去調査のフォローアップ（実態調査）
家庭からの収集ごみの処理実態調査を県内全市町村に対して実施
ごみ袋有料化の有無・処理方法（処理場での分別状況）・有害資源ごみの回収状況等

⑤自然環境分科会

- 自然環境セミナー
自然体験活動や自然環境教育に興味を持つ方々に参加してもらい、実践者の増大を図るための講座を実施
日程：平成22年9月23日
講師：片岡寧豊（華道小原流一級家元教授）
「万葉の植物を通して見えてくること」
参加者：25名
- 自然体験教室
自然環境に興味を持つ県民に広く参加してもらうことで、自然体験活動の普及を図るため、分科会会員が主催する自然体験行事を支援
1回目 平成23年2月20日 「冬の生き物観察」 参加者 42名
2回目 平成23年3月19日 「森林の遊びとピザ作り」 参加者 17名
- 菜の花プロジェクトの推進
大和の国・菜の花エコプロジェクトの各フィールドの支援
菜の花だよりの編集（年2回）
フォーラム会員の菜の花プロジェクト報告・交流会（菜種油の天ぷらパーティー）